

(別添)

第6回日英鉄道協力会議の開催結果について

1. 会議の概要

2002年1月に開催された「交通に関する大臣会合」(東京)において、英国運輸自治省ジェイミソン運輸担当政務次官が扇国土交通大臣と対談した際、次官より日英の鉄道関係者が相互に情報交換を行う機会を設けたいとの提案があった。

これを受けて、日英両国の鉄道の発展を目指し、それぞれの国の鉄道に関する政府機関及び鉄道事業者等が抱える課題や取組について意見交換を行うとともに、共通する課題について協力して解決にあたることを目的に、2002年10月以来、日英交互の主催で、これまで5回の会議を開催。

2. 日時・場所

6月3日(火) 10:00~18:00【現地時間】
英国運輸省内

3. 出席者

日本側 国土交通省顧問 丸山 博
大臣官房審議官(鉄道) 藤田 博
JR東日本、JR東海、日立製作所 ほか
英国側 リナード運輸省鉄道局長 ほか

4. 結果

冒頭、国土交通省丸山顧問より挨拶を行った。この中で、英国アシュフォードにおける日立製作所の車両保守基地の開所、鉄道分野におけるセキュリティの強化、新たな情報通信・環境関連技術、地方鉄道の活性化について言及した。

その後、日英双方で、以下のとおり意見交換を行った。

①英国と日本の鉄道長期ビジョン

日英双方より、鉄道政策の現況及び将来の方向性について発表を行った。

②地方鉄道の現状と活性化方策

日本側から地方鉄道の現況と「鉄道事業再構築事業」制度の導入等について報告を行った後、英国側より、同国における地方鉄道活性化施策の概要を聴取した。

③鉄道と環境

英国側から、鉄道整備の投資評価と環境外部性について発表を行った後、日本側より、日立製作所によるハイブリッド車両の開発について発表を行った。

④チケット販売・情報サービス

英国側から、チケット販売、情報サービスの将来に関する日英の比較とここから導かれる教訓について発表を行った後、日本側からJR東日本の携帯電話を活用したSUICA事業等について発表を行った。

⑤高速鉄道

英国側から、日立製作所が車両の納入を行った海峡連絡線高速化事業について発表を行った後、日本側からJR東海による環境負荷の小さいN700系の開発について発表を行った。

⑥鉄道セキュリティ

日英双方から鉄道セキュリティに対する取組みの現況についてプレゼンテーションを行うとともに、テロ対策による鉄道セキュリティの更なる向上について議論を行った。

最後に、次回第7回会合を日本にて実施することで合意した。

以 上